

黒島地区

輪島の黒島地区は、かつて裕福な北前船の船主と船長の拠点であった。北前船とは、江戸時代（1603-1867）から20世紀の変わり目にかけて、日本海側沿いの港で貿易を行っていた木造りの荷船だ。

この歴史的な地区には、黒い瓦屋根、木板の壁、格子戸などの、江戸時代の建築が残されている。修復された角海家の住居を見れば、「北前船」船主の邸宅の伝統的な内装がどのようであったかがわかる。黒島と北前船についてもっと知りたい場合は、黒島天領北前船資料館を訪れるとよい。